

バイパス整備による歩行者の安全確保と交通の円滑化

—主要地方道 取手つくば線 谷井田大橋開通—

【主要地方道 取手つくば線】

- ・事業箇所： つくばみらい市谷井田～南太田
- ・延長： 4.1km (うち今回開通0.5km)
- ・幅員： 18.0/6.5m(2車線)
- ・事業費： 約72億円

主要地方道 取手つくば線 0.5 km 供用
(谷井田大橋含む)



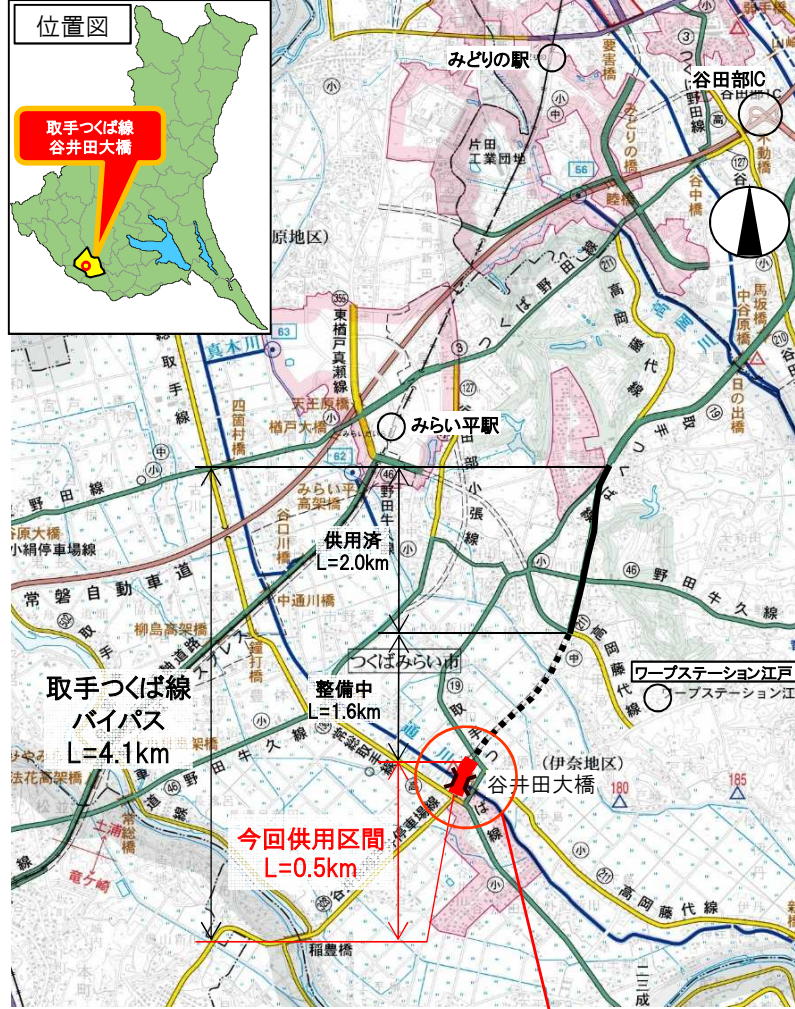
- ・歩行者が歩道を通行可能に
- ・変則交差点が解消
- ・最大渋滞延長が約150m減少
- ・信号待ちを伴う右左折の回数が減少

県道取手つくば線は、取手市とつくば市を結び、経済活動や住民の日常生活を支える幹線道路です。しかしながら、幅員が十分でなく歩道がないため、歩行者の安全確保が困難な箇所や、変則交差点があり渋滞が発生している箇所がある等の課題がありました。

そのため、県では、つくばみらい市区間において、延長約4.1kmのバイパスを計画し、平成17年度までに県道高岡藤代線から北側にかけ、延長約2.0kmを暫定2車線で供用しました。

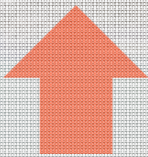
残りの延長約2.1kmについては、谷井田大橋を含む約0.5km区間の整備を特に優先して進め、平成31年2月21日に谷井田大橋を含む約0.5kmの供用を開始しました。

これにより、変則交差点が解消されるとともに、車道の幅員が拡がり歩道が整備されたため、歩行者の安全が確保され、車両の交通が円滑になりました。



- ◎歩行者の安全確保
- ◎車両の交通が円滑に

①



バイパス整備

- ✖幅員が十分でなく、歩道がない
- ✖変則交差点があり、渋滞が発生

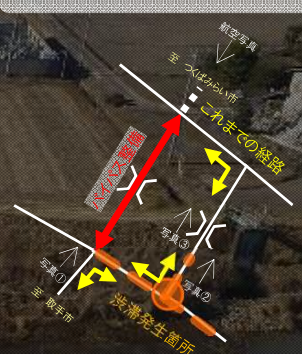
渋滞状況



旧橋



◎変則交差点の解消



- バイパス整備により
- ・最大渋滞延長が約150m減少
 - ・信号待ちを伴う右左折の回数が減少

至 取手市

至 つくばみらい市